

## 2012年度第6回執行理事会議事録

期 日：2012年12月1日（土）10:00～12:30  
場 所：連合会館 会議室（千代田区神田駿河台3-2-11）  
出席者：石渡会長 ウォリス副会長 渡部副会長  
齋藤常務理事 伊藤 井龍 高木 内藤  
中澤 西 平田 保柳 松田 山路 山本  
（事務局）橋辺  
オブザーバー 小川勇二郎IUGS理事  
欠席者（委任状提出あり）：坂口 星 山口

\*定足数（12、委任状含む）に対し、出席者15名、委任状3名、合計18名の出席。

\*前回議事録を確認した。

### I 審議事項

1. 名誉会員推薦委員会階層別委員候補者の選出階層別委員候補者4名は、以下の方々を理事会に諮ることとした。

官公庁：栗本史雄（産総研）、小中校教員：小尾 靖（相模原青陵高）

会社：松浦一樹（ダイヤコンサルタント）、大学：竹内 誠（名大）

理事会推薦委員1名：宮下純夫（新潟大学）  
職責委員（各支部長）7名

竹下 徹，川辺孝幸，伊藤谷生，原山 智，宮田隆夫，石田啓祐，小林哲夫

2. 選挙規則・細則改正案について

前回の理事会以降の修正案を付加した改正案を理事会に提案することとした。

3. IUGSと共催の津波関係の国際シンポジウムの開催：小川勇二郎IUGS理事

小川IUGS理事から災害関係の国際組織の概要、とくにICSUのもとにあるIRDR（災害防止検討計画委員会）、日本では学術会議の建築土木委員会の下にIRDR文科会が設置されているが、同委員会には地質系の委員がいないため、委員を送り込

むことになったことなどについて詳細な説明があった。

G-EVERの仙台でのシンポジウムは、IUGS、地質学会との共催とし、CCOP総会とも日程調整することで準備することとした。

### 4. 理事会議事確認

午後の理事会に向けて、審議内容と議事進行の確認をした。

### II 報告事項

（1）運営財政部会：総務委員会（西・山本）

<共催・後援依頼，他団体の募集等>

1. 地質汚染－医療地質－社会地質学会より環境地質部会に対し「第22回環境地質学シンポジウム」の共催依頼があり、西・山本理事が確認し、部会へ回送して部会が承諾の返事をした。

部会が独自で共催することに関しては、今後何らかのルール作りが必要。地質学会本体として把握しておくことが重要。

2. 「第10回高校生科学技術チャレンジ」最終審査会・表彰式 12月15日・16日 日本科学未来館

3. 「第7回科学の芽賞」表彰式・発表会 12月22日 筑波大学学生会館

4. 第38回リモートセンシングシンポジウム協賛のお礼と報告、参加者30名、発表22件

5. 新潟大学学術情報機構企画展示「佐渡の海洋生物展」後援お礼と報告、来場者数 1569名

<その他>

1. 日本学術会議より出された報告書「高レベル放射性廃棄物の処分について」に対するコメント：会員への周知、プレスリリース

<会員>

1. 今月の入会者（1名）

正会員（1名）金栗 聡

2. 今月の退会者（1名）

正会員（1名）大橋義也

3. 今月の逝去者（1名）

正会員（1名）：有田忠雄（2008年11月25日）

4. 11月末日会員数

賛助：27 名誉：71 正会員：3988（正会員：3791，正（院割）会員：186，正（学部割）会員：11）合計4086（昨年比 -62）

5. 2012年度末退会予定者32名，除籍予定者99名。一覧を理事会で回覧する。

<会計>

会計収支状況（10月まで）

雑支出の予算には英文ホームページの整備費用が組み込まれているのでこれを使って早急に整備する。本件は，国際と広報が協力しておこなう。

・学術著作権協会より受託著作物に関する2012年度複製使用料82,275円分配の連絡があり送金される予定。

**（2）広報部会：広報委員会（内藤・松田）**

・フォトコンテスト

清川理事にポスターを作成してもらって、関係諸機関に配布し募集を開始した。

・プレスリリース

日本学術会議より出された報告書「高レベル放射性廃棄物の処分に  
ついて」に対するコメント及び会員への周知

・地質学者にQ&Aが3件。近日中に対応予定。

**（3）学術研究部会：行事委員会（星）**

・仙台大会においては、東北大学の以下の4機関からの共催を得た。

災害科学国際研究所 理学研究科 東北アジア研究センター 学術資源研究公開センター

・2013年度地質情報展・市民講演会について科研費を申請。

**（4）学術研究部会：国際交流委員会（井龍）**

1. 学術の大型研究計画に関する予備調査にあたり本会を母体として以下の応募があった。  
大型研究計画マスタープランへの地質学会を

推薦母体とする応募

・極域科学のフロンティア---南極観測・北極観測の新展開による地球環境変動研究---提案責任者：白石和行

・「掘削科学を用いた地球環境史の解明と資源科学への応用」提案責任者：西・井龍

・鳥海さんの提案（要確認）→経緯を説明して貰う。

・高井さんの提案（要確認）→経緯を説明して貰う。

2. 「福井県おおい町大島の県道法面工事における露頭保全のお願い」の要望書提出について

**（5）学術研究部会：その他**

タイの地質学会との学術交流協定は期限切れとなっているので、今後も継続することとして現在準備中。

**（6）編集出版部会：地質学雑誌編集委員会（山路）**

1) 編集状況報告（11月28日現在）。

・2012年度投稿論文

総数94編 [総説5（和文5），論説57（和文53

・英文4），報告8（和文7・英文1），

ノート6（和文6）] 口絵8（和文5 英文3）

・巡検案内書10

査読中27編 受理済み28編（うち通常号10  
特集号18）

・118巻11月号：通常号（論説5・ノート1・口絵1：計73頁 11/30発送済み）

・118巻12月号：通常号（論説4・ノート1・口絵1：計70頁 校正中）

2) 特集号編集状況

**（1）構造地質学と応用地質学の接点**

（2010.4.19受付）代表世話人：竹下 徹

構成論文7編中，受理済み6編（早期公開済み），査読中1編。

※上記査読中1編については，年内に修正原稿投稿予定。

**（2）三次元地質モデルの構築手法と利活用**

(2011. 10. 18受付) 代表世話人：木村克己  
構成論文8編中, 受理済み5編, 査読中3編.

(3) 中国地方の下・中部新生界の研究

(2012. 2. 17受付) 代表世話人：沢田順弘  
構成論文8編中, 受理済み5編, 査読中2  
編, 掲載不可1編.

(4) 東北日本弧における活火山の長期活動評価

(2012. 7. 20受付) 代表世話人：長谷川健  
構成論文5編中, 受理済み2編, 査読中3編.

3) 委員の交代

編集委員会から任期切れ編集委員の交替の  
提案があったが、委員会規則の不備について検  
討し、編集委員会規則の整備ができた後に委員  
の選定を行うこととする。それまで、任期の延  
長をお願いすることとした。

(7) 編集出版部会：Island Arc編集委員会（伊  
藤）

1) 編集状況報告

(8) 企画出版委員会（山口）

(9) 社会貢献部会（高木・平田・中澤・保柳）

・地学教育委員会：2012年10月からの役員

委員長：三次徳二

委員：浅野俊雄・阿部国広・小尾 靖・芝川明  
義・中井 均・矢島道子

以上

2012年11月10日

一般社団法人日本地質学会執行理事会

会長（代表理事） 石渡 明

署名人 執行理事 斎藤 眞